

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	放課後デイみんと
------	----------

公表日 令和7年2月1日

利用児童数 14(利用保護者数13)

回収数 12(92.3%)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	6	1	0	・人数が最大人数となるとスペースが少なく感じます。 ・個人スペースの部屋もあるので助かっています。 ・長期休みの時は子どもの人数が多く、狭いように感じられる日がある。 ・もう少し広ければ良いですが、現在の職員数で目が届くようにするには今のスペースが丁度良いように思います。職員人数が増えると良いですが	・ご意見ありがとうございます。現在も体育館やグラウンド、個室等を活用しております。今後も狭さを感じさせない様に努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	2	1	4		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	2	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1	0	1	・個人の尊重を大事にされている。	・ありがとうございます。これからも、子ども達各々に寄り添った支援を心掛けていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	2	0	2	・公表内容を知らないです。	・2月1日にホームページ上にて支援プログラムの公表を行いました。作成及び連絡が遅くなり申し訳ありません。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1	0	2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	3	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	1	2		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	0	0	4	・10月にあった研修の事で大丈夫ですか？それであったと認識しています。	・家族が参加できる研修会を検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	2	0	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	2	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	0	4		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1	0	3		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	0	1	・みんと通信楽しみにしています。 ・みんと通信、楽しく拝見しております。	・ありがとうございます。今後も活動の様子を定期的にお知らせしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	2	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	2	0	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	2	0	6		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	1	0	7		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	4	・今のところ経験がないです。	・体調不良や細やかな連絡に努めていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	2	0	0	・概ね満足しています。回答が4/5ターン（はい・どちらともいいない・いいえ・わからない）しかないので、答えるのが難しいものがあると思います。『どちらかといえばはい』とかあってほしいです。	・ご意見ありがとうございます。『ご意見』欄に記入をしていただく事で、思いを把握することが出来ました。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後デイみんと	公表日				令和 7年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・ 限りあるスペースを用途ごとに使用できる形に配置換えし、分散している為広く感じるようになった。 ・ 部屋の中を机や座机を使うことでグループ毎に活動出来る環境を作っている。 ・ 体育館や別室等を使用し、個別活動を行っている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	・ 事業所内で定期的に話し合いの場を設けている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・ 評価を元に業務改善を行っている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	・ 第三者評価は行っていない。	・ 外部評価は行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・ 施設内研修や法人研修に参加している。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	・ 支援プログラムは作成中(2月1日公表予定)	・ 支援プログラムの作成、公表を行う。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・ 定期的にアセスメントを行っている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	2				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	・ 全職員に共有は出来ていない。	・ 全職員へ計画書の情報共有をしていく必要がある。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・ 長期間間の活動等、職員間で案を出し合っている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・ ミーティングでその日の流れ等を確認している。 ・ 毎日ミーティングを行い、情報共有を行っている。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・ 次の日ミーティングにて情報共有し、今後に繋げている。 ・ 支援終了後でなく、次の日ミーティングで確認を行っている。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイみんと		
○保護者評価実施期間	令和6年10月12日 ～ 令和6年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和6年10月1日 ～ 令和6年10月12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所単独ではなく児、者の施設が併設されている為、研修を受ける機会が多々ある。	・研修への参加の促しを行う。 ・研修の積極的な受講を行う。	・研修参加者から不参加者への助言をもらう。 ・他事業所への見学を行う。
2	・職員が少人数なので情報共有しやすく、何事にもチームで取り組む事が出来る。	・日々のミーティングで細やかな情報交換を行っている。	・ケース記録、計画書、会議録などの情報共有をする。
3	・養護学校が隣接しており、また近隣の学校へ迎えに行く為その日の情報が入りやすい。見学等もすることが出来、開かれた事業所である。	・定期的な会議の開催。 ・情報共有。	・地域に合わせたニーズの掘り起こし。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員人数が少ないので充実した活動(利用者の希望する活動)が出来ないことがある。	・利用者人数に対しての職員の対応人数。	・利用者の状況(人数等)に応じて他部署からの応援を依頼する。
2	・保護者研修の開催。	・職員各々のスキルアップ。	・職員の知識の向上。 ・職員の研修参加。
3	事業所の各々のマニュアル(感染症、防犯、事故防止、緊急時対応等)が保護者にわかりづらい。	・発信不足。	・広報誌にマニュアルに応じた取り組みなど(感染症、防犯、事故防止の取り組み等)を載せ、外部に向けてわかりやすいように努める。